

○第71回プリオン専門調査会

日時：平成24年5月29日（火）17：00～18：37

場所：食品安全委員会 大会議室

議事概要：

- ・事務局から、米国における BSE の 4 例目の発生について説明がなされた。

- ・と畜場の管理状況（日本、米国、カナダ、フランス、オランダ）について、山本専門委員から説明がなされ、SRM の範囲等に異なる部分はあるが、各国それぞれにおいて食肉処理工程におけるリスク低減措置がとられていることが確認された。

- ・変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）に関する科学的知見について、中村専門委員から説明がなされ、vCJD の発生は、BSE の発生と関連がみられ、ほぼ終息に向かいつつあることが確認された。

- ・非定型 BSE に関する科学的知見について、小野寺専門委員から説明がなされた。非定型 BSE は、定型 BSE と異なり、ほとんどが 8 歳を超える高齢牛で発生しているが、不明な点も多く引き続き検討することとされた。

- ・フランス、オランダにおける BSE の発生状況等について、筒井専門委員から説明がなされ、発生牛の誕生年でみた場合、フランスでは 2004 年 4 月、オランダでは 2001 年 2 月生まれの牛を最後に、BSE の発生がみられておらず、フランスの 2004 年生まれの事例については、さらなる情報収集が必要であるが、飼料規制の一定の有効性が確認されつつあると考えられた。

- ・vCJD 及び非定型 BSE については、これまでの感染実験、発生状況等に関する議論を踏まえ、引き続き議論を深めていくこと、また、米国及びカナダの発生状況等について、引き続き確認を行っていくこととされた。
なお、主要な論点については今回までに着手できたため、これまでの議論を整理しながら、次回以降、議論を進めることとされた。

- ・次回の開催については、日程調整の上、決定することとされた。

以上